

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	1-2-3		事業名	子どもの自然体験活動事業
担当	教育委員会生涯学習部生涯学習推進課 高橋 TEL211-3872			
全体計画				
事業内容	子どもたちが主体的に実践し、自主性や協調性をはぐくみ、「生きる力」を身につけていくために、林間学校やアタックキャンプなどの事業を実施する。		＜年度別の事業内容＞	
			平成19年度～平成22年度 夏季・冬季林間学校、夏季・冬季(モデル事業)アタックキャンプ、野外活動指導員研修の実施。	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	<p>＜林間学校＞9,574千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象:市内の小学校3年生～6年生 会場:市内の小学校及び青少年山の家などの社会教育施設 参加人数:夏季1,128人(定員1,066人)、冬季630人(定員650人) 参加費用:夏季11,000円・13,800円、冬季13,800円 活動内容:テント泊、野外炊飯、キャンプファイア、登山、ごえもん風呂、チューブ滑り、歩くスキー、スノーシュー、レクリエーションなど <p>＜アタックキャンプ＞5,614千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象:市内の中学校1年生～3年生 会場:夏季は藤野野外スポーツ交流施設、冬季は滝野自然学園 参加人数:夏季75人(定員60人)・冬季39人(定員60人) 参加費用:15,000円 活動内容:テント泊、野外炊飯、キャンプファイア、登山、川上り、ごえもん風呂、基地作り、レクリエーションなど <p>＜野外活動指導員研修＞3,370千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象:市内及び近郊の大学生1・2年生、短大及び専修学校の1年生 募集定員:50人 活動内容:野外活動を行うのに役立つ知識や技術、楽しい遊びの方法などを伝え、市民がより充実した活動ができるようサポートをする指導者(青年ボランティア)を養成 <p>【事業費(決算額)18,823千円】</p>		<p>＜林間学校＞7,539千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象:市内の小学校3年生～6年生 会場:市内の小学校及び青少年山の家などの社会教育施設 参加人数:夏季1,055人(定員1,066人)、冬季631人(定員698人) 参加費用:夏季11,000円・13,800円、冬季13,800円 活動内容:テント泊、野外炊飯、キャンプファイア、登山、ごえもん風呂、チューブ滑り、歩くスキー、スノーシュー、レクリエーションなど <p>＜アタックキャンプ＞4,905千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象:市内の中学校1年生～3年生 会場:夏季は藤野野外スポーツ交流施設、冬季は青少年山の家、滝野自然学園(冬季は自然体験事業:日帰りデイキャンプとして実施) 参加人数:夏季77人(定員60人)、冬季16人(定員30人) 参加費用:夏季15,000円、冬季5,000円 活動内容:テント泊、野外炊飯、キャンプファイア、登山、川上り、ごえもん風呂、基地作り、スノーシューなど <p>＜野外活動指導員研修＞2,979千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象:市内及び近郊の大学生1・2年生、短大及び専修学校の1年生 募集定員:50人 活動内容:野外活動を行うのに役立つ知識や技術、楽しい遊びの方法などを伝え、市民がより充実した活動ができるようサポートをする指導者(青年ボランティア)を養成 <p>【事業費(決算額)15,423千円】</p>	
場所	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	<p>＜林間学校＞6,430千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象:市内の小学校3年生～6年生(冬季は1,2年生コースを試行) 会場:市内の小学校及び青少年山の家などの社会教育施設 参加人数:夏季1,088人(定員1,066人)、冬季572人・1,2年生コース24組(定員698人・1,2年生コース24組) 参加費用:夏季11,000円・13,800円、冬季13,800円(16,800円) 活動内容:テント泊、野外炊飯、キャンプファイア、登山、ごえもん風呂、チューブ滑り、歩くスキー、スノーシュー、レクリエーションなど <p>＜アタックキャンプ＞3,405千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象:市内の中学校1年生～3年生 会場:滝野自然学園(通年事業として実施) 参加人数:63人(定員60人) 参加費用:15,000円 活動内容:テント泊、野外炊飯、キャンプファイア、川上り、野外レクリエーション、スノーシューハイクなど <p>＜野外活動指導員研修＞2,944千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象:市内及び近郊の大学、短大及び専修学校生 募集定員:50人 活動内容:野外活動を行うのに役立つ知識や技術、楽しい遊びの方法などを伝え、市民がより充実した活動ができるようサポートをする指導者(青年ボランティア)を養成 <p>【事業費(決算額)12,779千円】</p>		<p>＜林間学校＞5,613千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象:市内の小学校3年生～6年生(冬季は1,2年生コースを試行) 会場:市内の小学校及び青少年山の家などの社会教育施設 参加人数:夏季1,018人(定員1,066人)、冬季557人・1,2年生コース48組(定員698人・1,2年生コース48組) 参加費用:夏季11,000円・13,800円、冬季13,800円(16,800円) 活動内容:テント泊、野外炊飯、キャンプファイア、登山、ごえもん風呂、チューブ滑り、歩くスキー、スノーシュー、レクリエーションなど <p>＜アタックキャンプ＞3,299千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象:市内の中学校1年生～3年生 会場:滝野自然学園(通年事業として実施) 参加人数:47人(定員60人) 参加費用:15,000円 活動内容:テント泊、野外炊飯、キャンプファイア、登山、川上り、ごえもん風呂、スノーシューなど <p>＜野外活動指導員研修＞1,990千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象:市内及び近郊の大学、短大及び専修学校生 研修受講生:14人(定員30人) 活動内容:野外活動を行うのに役立つ知識や技術、楽しい遊びの方法などを伝え、市民がより充実した活動ができるようサポートをする指導者(青年ボランティア)を養成 <p>【事業費(決算額)10,902千円】</p>	
規模				
件数				
等				

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	1-2-3			事業名	子どもの自然体験活動事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
林間学校参加者の親から見た子どもたちの成長度合い(5点満点)	3.58	未実施	3.64	未実施	3.60	4.00	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 札幌市定山溪自然の村(社会教育施設)において、市民等のファミリー利用者等に対し、野外活動のボランティアとして参加。利用者間の交流促進を図る。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力]事業の指導者等に札幌市野外活動教育研究会及び財団法人札幌市青少年女性活動協会の指導者があたっている。 [情報協力] (該当なし) [その他の協力] (該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 各事業とも、出来るだけ参加費を抑えるため、ボランティア等の指導者で実施している。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>自然体験活動は、その体験の過程の中に子どもたちが成長するための多様な学びがあり、豊かな人間性や社会性を獲得し、子どもの「生きる力」をはぐくむ上で極めて有用なものである。札幌市の豊かな自然環境を活用し、学校教育と社会教育が連携して実施するこうした事業は、子どもを取り巻く様々な課題に対処する上で、その果たす役割は今後ますます重要になっていくものと思われる。</p>			<p>林間学校は定員以上の応募があり、抽選により参加者を決定している。定員枠の拡大には、定員相当の指導者の確保が必要である。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>・林間学校では、1・2年生を対象としたコースを23年度冬季から本格実施するとともに、新たに夏季にも試行実施する。また、児童が自分に合ったコースを選択できるように既存コースの見直しも行う。</p> <p>・アタックキャンプは、22年度の市民評価(事業仕分け)にて、事業の効率的な実施に関する指摘があり、検討の結果、見直しを行い、23年度から林間学校に中学生コースを新設する。</p> <p>・アタックキャンプ同様の指摘を受けた「野外活動指導員研修」は廃止し、一般市民向けに実施している「野外活動指導者基礎講座」と統合し、札幌市自然体験活動セミナーとして実施する。</p>							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		1-2-3			事業名	子どもの自然体験活動事業					
事業費の推移											
項目		19年度		20年度		21年度		22年度		計	
計画	事業費	-		-		-		-		-	
	財源内訳	国・道支出金									
		市の債									
		その他の財源									
予算	事業費	19,376		17,362		15,639		13,744		66,121	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0		0
		市の債	0		0		0		0		0
		その他の財源	11		8		8		6		33
実績	事業費	18,823		15,423		12,779		10,902		57,927	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		0		0		0
		市の債	0		0		0		0		0
		その他の財源	8		8		3		0		19
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)									-
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)											
《全体》											
[19年度]											
[20年度]											
[21年度]											
[22年度]											